

推理 2——被害者はどうやって運ばれた？

コテージを調べ、他の4人の事情聴取を終えた^{せんり}千里と^{とうごう}東郷は、脱衣所で顔を突き合わせていた。

東郷 「やっぱり、これはおかしいよな」

千里 「はい。変だと思います」

東郷 「しかし……つまり、どういうことだ？」

▼推理開始

推理 2：被害者はどうやって運ばれた？

被害者は殺される時、【 】を^{くわ}咥えていた。

つまり、被害者が殺されたのは【 】付近だ。

犯人は被害者の死体を、特定の時間帯のみ運ぶことができた。
その証拠は【 】にある。また犯人がその方法を実際に
使ったという証拠が、【 】だ。

※※※※※正しく推理するまでこの先には進まない※※※※※

千里の推理 2

千里 「オーナーは葉巻を吸おうとしたところを殺された。だから口の中に切れ端が残っていたんでしょう」

東郷 「そういえば葉巻の端にはフィルターがあるから、端を切り落とさないと吸えないんだったな。普通はそれ用のカッターを使うんだが、人によっては噛み切る、と聞いたことがある」

千里 「オーナーが殺されたのは写真に写っている砂浜の流木のところで間違いはないはずです。三根^{みね}さんによれば、オーナーはいつも決まった場所で葉巻を吸っていた。そして、写真立てには流木に腰掛けて葉巻を吸うオーナーの姿が写っている。つまり、オーナーはいつも通りこの流木付近で葉巻を吸おうとしたところで、背後から撃ち殺されたんです」

東郷 「しかし、だとすると死体はどうやって運ぶ？」

千里 「犯人はあるモノの力を使ったんです。それが何かは、この脱衣所のバスタオルが教えてくれました。昨夜シャワーを浴びたのは7人。でも、何故か使用済みのタオルは8枚。つまり、犯人はどこかで濡れて、もう一度バスタオルで体を拭いたんです」

東郷 「つまり、そのあるモノの力っていうのは……」

千里 「はい、水の浮力です。脂肪は水より軽いですから、オーナーの死体が水に浸かれば、その体は水に浮いたはずです。これなら、犯人は簡単にオーナーの死体を運ぶことができます」

東郷 「しかし、その水はどこから持ってくる？」

千里 「時間になれば勝手にやってくるんです。見てください、オーナーの夜釣りの写真。この島の地図を見る限り、階段に腰掛けて釣りができる場所なんてないはずなんです。二つあるどちらの階段も、周りには陸地がありますから」

東郷 「確かに、海に近い南の階段でも目の前には砂浜がある。しかしオーナーは階段から釣りができていた。つまり……」

千里 「はい。満潮になれば、砂浜は、そして岩場も海中に沈むんです。その時間帯であれば、犯人はオーナーの死体を海に浮かべて移動させることができました」

東郷 「これは重要な手掛かりだ。満潮の時間帯は今晚確かめるとして、まずは行くか。本当の殺人現場に」

砂浜に下りれば、すぐに砂に半分埋もれた流木が見つかった。
千里がそこに近付いていくと、^{イメージ}思念が流れ込んでくる。

拳銃を撫^なでる。

タイタンの遺産をめぐる争いが起きたときのための、念のために用意した拳銃だった。

ゆっくりと歩みを進める。幸い、砂浜なので足音はほとんどしない。流木に腰掛けるオーナーの巨大な背が近付いてくる。

精確に頭に狙いを定め、引き金を引く。

オーナーが頭から血を流して地面に倒れる。

サイレンサー付きの拳銃は、ほとんど銃声を立てなかった。

千里 「見えました、殺すところ」

東郷 「そうか。ならこれで犯行現場は確定だな。犯人はわかりそうか？」

- 千里 「犯人を直接指し示すような^{イメージ}思念ではなかったので……。ただ、アリバイから容疑者を絞^{しば}り込めそうな気はします」
- 東郷 「アリバイか。そう言えば昨晚、三根^{みね}、柳^{やなぎ}と話したな」
- 千里 「ちなみに、どんな話をしたんですか？」
- 東郷 「三根からは取材みたいに警察の捜査方法について聞かれて、最近一般的になった、^{ブラック}紫外線ライトを使った現場検証やら、^{ちよくちよう}直腸温度から死亡時刻を推定する方法について話した。柳からは民俗学的な話をされたが、内容はほとんど覚えてない。参考になりそうか？」
- 千里 「それは、まだなんとも……」
- 東郷 「ひとまず、コテージに戻る前に島全体も探索しておくか」

▼捜査再開

ここから捜査再開となります。

証拠カード「**島の探索**」を調べて島全体の調査を行いましょう。

4枚すべて調べれば（すべての証拠カードを公開されていれば）、資料「**推理Ⅲ**」を公開してください。

1. 証拠カード「島の探索」を4枚とも調査
2. 資料「推理Ⅲ」を公開（推理開始）